

平成21年度 収支計算書

資金収支計算書

(資金収入の部)

(単位:円)

科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	1,583,626,000	1,584,553,234	△ 927,234
手数料収入	45,956,000	53,894,375	△ 7,938,375
寄付金収入	1,200,000	7,379,000	△ 6,179,000
補助金収入	658,546,000	703,820,819	△ 45,274,819
国庫補助金収入	67,405,000	100,394,000	△ 32,989,000
地方公共団体補助金収入	591,141,000	603,426,819	△ 12,285,819
資産運用収入	14,481,000	20,669,274	△ 6,188,274
事業収入	48,552,000	42,392,050	6,159,950
雑収入	55,319,000	65,524,430	△ 10,205,430
前受金収入	341,244,000	360,947,548	△ 19,703,548
その他の収入	712,721,000	709,387,395	3,333,605
資金収入調整勘定	△ 392,612,000	△ 401,149,664	8,537,664
前年度繰越支払資金	1,383,576,210	1,756,723,513	△ 373,147,303
資金収入の部合計	4,452,609,210	4,904,141,974	△ 451,532,764

(資金支出の部)

(単位:円)

科目	予算	決算	差異
人件費支出	1,445,038,000	1,435,103,573	9,934,427
教育研究経費支出	565,335,000	506,364,288	58,970,712
管理経費支出	190,177,000	176,841,278	13,335,722
借入金等利息支出	26,621,000	26,620,230	770
借入金等返済支出	144,440,000	144,440,000	0
施設関係支出	24,410,591	24,410,591	0
設備関係支出	32,433,000	26,846,992	5,586,008
資産運用支出	84,157,000	80,028,337	4,128,663
その他支出	704,440,000	718,460,120	△ 14,020,120
(予備費)	(6,515,591)		
	43,484,409		43,484,409
資金支出調整勘定	△ 107,018,000	△ 109,657,973	2,639,973
次年度繰越支払資金	1,299,091,210	1,874,684,538	△ 575,593,328
資金支出の部合計	4,452,609,210	4,904,141,974	△ 451,532,764

資金収支計算書の概要

平成21年度の学園計資金収支計算書について、まず収入額を見ると「学生生徒納付金収入」は、ほぼ当初予算どおりの運営であったが、「補助金収入」について当初予算対比約4500万円の超過となった。この内には、予算策定時想定していなかった短期大学の経常費補助金のうち「未来経営戦略推進経費」の申請と認可による約1200万円の増額、また高等学校の運営費補助金も約1200万円の収入増となった。

支出においては、「教育研究機器備品支出」にて「教.光熱水費支出」「教.修繕費支出」「教.報酬・委託料支出」等の節減が大きく寄与し、当初予算対比約5900万円の支出減となった。一方、幼稚園の「風除室の設置」や高等学校三神峯キャンパスの防球・防砂ネットの老朽化のための急遽の対応等「予備費」の支出も発生した。

学園計の資金収支差額は、約1億1800万円の黒字で決算をむかえる事ができた。「次年度繰越支払資金」も約18億円となり平成17年度を底に増加傾向を維持する結果となった。

平成21年度 収支計算書

消費収支計算書

(消費収入の部)

(単位:円)

科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金	1,583,626,000	1,584,553,234	△ 927,234
手数料	45,956,000	53,894,375	△ 7,938,375
寄付金	1,398,000	8,270,352	△ 6,872,352
補助金	658,546,000	703,820,819	△ 45,274,819
国庫補助金	67,405,000	100,394,000	△ 32,989,000
地方公共団体補助金	591,141,000	603,426,819	△ 12,285,819
資産運用収入	14,481,000	20,669,274	△ 6,188,274
事業収入	48,552,000	42,392,050	6,159,950
雑収入	55,319,000	70,074,259	△ 14,755,259
帰属収入合計	2,407,878,000	2,483,674,363	△ 75,796,363
基本金組入額	△ 190,053,000	△ 177,958,653	△ 12,094,347
消費収入の部合計	2,217,825,000	2,305,715,710	△ 87,890,710

(消費支出の部)

(単位:円)

科目	予算	決算	差異
人件費	1,445,038,000	1,427,025,173	18,012,827
教育研究経費	774,843,000	715,190,708	59,652,292
管理経費	201,063,000	187,600,214	13,462,786
借入金等利息	26,621,000	26,620,230	770
資産処分差額	20,967,000	3,896,043	17,070,957
徴収不能額	3,000,000	0	3,000,000
徴収不能引当金繰入額	2,222,000	1,539,600	682,400
(予備費)	50,000,000		50,000,000
消費支出の部合計	2,523,754,000	2,361,871,968	161,882,032
当年度消費収入超過額	△ 305,929,000	△ 56,156,258	—
前年度繰越消費収入超過額	△ 2,389,248,174	△ 2,235,714,405	—
翌年度繰越消費収入超過額	△ 2,695,177,174	△ 2,291,870,663	—

消費収支計算書の概要

学園の消費収支差額は約5600万円の赤字となった。当初予算では約3億円の赤字であったが、「資金収支計算書」と同様、「補助金」での収入超過の約4500万円をはじめ「手数料」、「寄附金」でも当初予算比は収入超過となった。その他「基本金組入額」の減少等、収入超過要素が多く発生した。その結果、収入の部で予算比約8800万円増となった。

一方、支出においても、「資金収支計算書」と同様に「教育研究経費」で約6000万円、「人件費」1800万円、「管理経費」1300万円の予算比減少等、収入と同様、消費収支差額を好転させた。その要因は、第一次長期経営計画にて部門毎の資金収支差額において明確な目標額を設定して取り組んできた事が挙げられる。併せて、その裏づけとして平成17年度から採用している「予算執行」システムの効果が浸透したものと考える。

特記事項として、有価証券の減損処理に関して、平成21年度に近年の経済状況から、手持ちの有価証券の時価までの減損処理を実施予定で「資産処分差額」にて約2000万円予算計上していたが平成20年度の決算時に減損処理を完了したため「資産処分差額」のうち2000万円は執行予定のない予算となった。また、「予備費」について、「資金収支計算書」では約650万円使用するも「消費収支計算書」対応科目でないため執行額は0円であった。